

# 環境報告書

(2019年4月1日~2020年3月31日)

2019年度

2020年7月10日

東伸環境株式会社

**TOSHIN**

# 1. 組織の概要

## (1) 事業所名

東伸環境株式会社

## (2) 代表者氏名

代表取締役 鈴木 昇

## (3) 所在地

宮城県仙台市若林区卸町東五丁目3番16号

## (4) 事業内容

- ① 産業廃棄物の収集運搬
- ② 特別管理産業廃棄物の収集運搬
- ③ 油水分離槽・グリストラップの清掃

## (5) 資本金

10,000,000円

## (6) 沿革

1985年12月14日設立

## (7) 事業の規模

- ① 売上高： 102,891,060円  
(令和元年度実績)
- ② 従業員数： 8名  
(内、4名が役員)

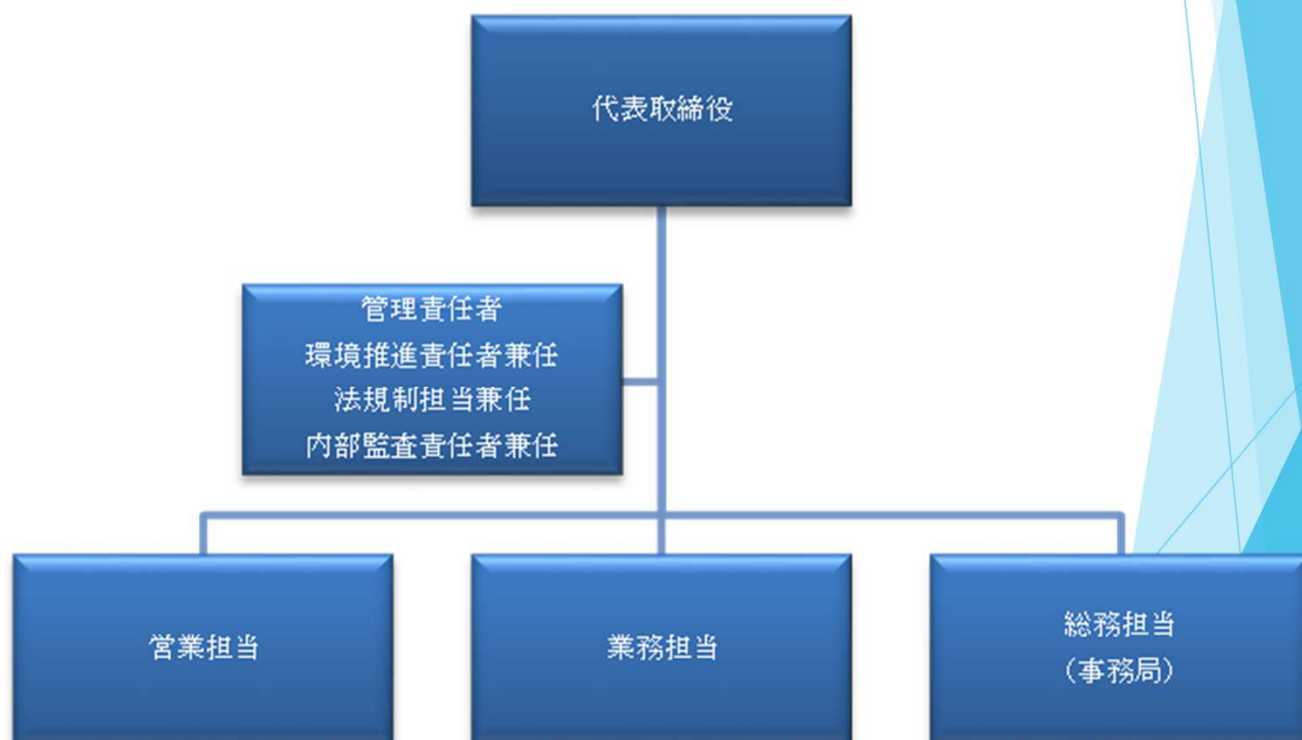
### ③ 敷地面積・延床面積

本社・事務所敷地面積： 1492.23m<sup>2</sup>  
延床面積： 30.8m<sup>2</sup>

## (8) 事業計画の概要

弊社は創業以来、ガソリンスタンドの油水分離槽清掃業務、廃油収集運搬業に携わり、環境問題にも積極的に取り組んでおります。お客様にご満足いただけるサービスの提供を目標に、常に、「迅速」かつ「慎重」に安全な対応を心掛けるとともに、環境に配慮した地域社会の創造に貢献してまいります。技術資格者も多く在職し、確かな技術と安心をご提供いたします。収集運搬業務は、排出事業者の依頼を受け、廃棄物を指定された中間処理施設やリサイクル施設、最終処分場等に搬入します。「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び各種環境関連法に則り、事業を展開します。

## (9) 環境活動の取り組み体制



管理責任者：松尾 篤史

担当者連絡先：090-4314-9249

(TEL：022-390-4051 FAX：022-390-4070)

2020年3月31日現在8名

# (10)許認可一覧・取扱い産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物

No	産業廃棄物収集運搬業			許可品目																				項目					
	都道府県 政令市	許可番号	許可年月日 及び 有効期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	ガラスくず、コンクリートくずおよび陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	動物系固形不要物	動物の糞尿	動物の死体	13号廃棄物		(自動車等破砕物)	(石綿含有産業廃棄物)	(水銀使用製品産業廃棄物)	(水銀含有ばいじん等)	
①	宮城県	00400033699	平成31年4月8日 平成38年4月7日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19
②	福島県	第00707033699	平成30年6月20日 平成35年6月19日		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●		●	●	●	●	16
③	岩手県	00300033699	令和元年5月13日 令和8年5月12日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19
④	山形県	第0609033699	平成31年4月9日 平成38年4月8日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19
⑤	秋田県	00501033699	平成29年5月29日 平成34年5月28日		●	●	●	●			●																	6	
⑥	青森県	00201033699	平成28年10月19日 平成33年10月18日		●	●	●	●			●																	6	

No	特別管理産業廃棄物収集運搬業			許可品目														項目		
	都道府県 政令市	許可番号	許可年月日 及び 有効期限	廃油	廃酸	廃アルカリ	鋳さい	ばいじん	燃え殻	汚泥	指定下水道汚泥	処理物	感染性産業廃棄物	廃PCB等	PCB汚染物等	PCB処理物等	廃石綿等		廃水銀等	
①	宮城県	00450033699	平成31年4月8日 平成38年4月7日	●	●	●			●	●								●		6
②	福島県	第00757033699	令和元年6月4日 令和8年5月6日	●	●	●		●	●	●								●		7
③	岩手県	00350033699	令和元年5月13日 令和8年5月12日	●	●	●		●	●	●								●		7
④	山形県	第0659033699	平成31年4月9日 平成38年4月8日	●	●	●			●	●								●		6
⑤	秋田県	00551033699	平成29年5月29日 平成34年5月28日	●	●	●														3
⑥	青森県	00251033699	平成28年10月19日 平成33年10月18日	●	●	●														3

## (11)保有車両（種類及び台数）

車両の種類	台数
清掃車	2台
キャブオーバ	1台

※2020年3月31日現在

## (12) 収集運搬実績（平成29年度）

産業廃棄物収集運搬実績（平成29年度）上半期（運搬車）

（単位：t）

種類	品目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
産業廃棄物	汚泥	運搬量	249,270	238,700	261,150	263,110	296,870	254,520	1563,620
		受入量	249,270	238,700	261,150	263,110	296,870	254,520	1563,620
	廃油	運搬量	7,091	11,371	5,622	7,541	12,147	6,872	50,644
		受入量	7,091	11,371	5,622	7,541	12,147	6,872	50,644
	廃酸	運搬量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
		受入量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
	廃アルカリ	運搬量	2,770	10,940	2,060	6,740	4,710	5,570	32,790
		受入量	2,770	10,940	2,060	6,740	4,710	5,570	32,790
	廃プラスチック類	運搬量	1,161	1,831	1,012	0,491	0,437	1,092	6,024
		受入量	1,161	1,831	1,012	0,491	0,437	1,092	6,024
	金属くず	運搬量	0,748	1,368	1,134	0,708	0,696	0,496	5,150
		受入量	0,748	1,368	1,134	0,708	0,696	0,496	5,150
特別管理産業廃棄物	引火性廃油	運搬量	0,100	5,850	0,280	3,960	0,000	4,710	14,900
		受入量	0,100	5,850	0,280	3,960	0,000	4,710	14,900
	強酸	運搬量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
		受入量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
	強アルカリ	運搬量	0,000	0,200	0,000	0,200	0,200	0,000	0,600
		受入量	0,000	0,200	0,000	0,200	0,200	0,000	0,600

産業廃棄物収集運搬実績（平成29年度）下半期（運搬車）

（単位：t）

種類	品目		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
産業廃棄物	汚泥	運搬量	241,880	239,050	356,990	270,370	301,780	278,150	1688,220
		受入量	241,880	239,050	356,990	270,370	301,780	278,150	1688,220
	廃油	運搬量	5,172	2,077	7,637	17,903	6,816	12,612	52,217
		受入量	5,172	2,077	7,637	17,903	6,816	12,612	52,217
	廃酸	運搬量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
		受入量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
	廃アルカリ	運搬量	2,750	2,260	5,700	9,640	0,930	3,379	24,659
		受入量	2,750	2,260	5,700	9,640	0,930	3,379	24,659
	廃プラスチック類	運搬量	0,412	0,417	0,257	0,273	1,116	0,773	3,248
		受入量	0,412	0,417	0,257	0,273	1,116	0,773	3,248
	金属くず	運搬量	1,006	0,486	0,816	0,854	0,408	0,524	4,094
		受入量	1,006	0,486	0,816	0,854	0,408	0,524	4,094
特別管理産業廃棄物	引火性廃油	運搬量	0,000	4,820	0,210	5,490	0,390	4,550	15,460
		受入量	0,000	4,820	0,210	5,490	0,390	4,550	15,460
	強酸	運搬量	0,120	0,000	0,000	0,000	0,060	0,000	0,180
		受入量	0,120	0,000	0,000	0,000	0,060	0,000	0,180
	強アルカリ	運搬量	0,000	0,200	0,000	0,400	0,000	0,200	0,800
		受入量	0,000	0,200	0,000	0,400	0,000	0,200	0,800

## (12) 収集運搬実績（平成30年度）

産業廃棄物収集運搬実績（平成30年度）上半期（運搬車）

（単位：t）

種類	品目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
産業廃棄物	汚泥	運搬量	237,640	297,520	251,880	232,800	222,940	197,000	1,439,780
		受入量	237,640	297,520	251,880	232,800	222,940	197,000	1,439,780
	廃油	運搬量	2,843	4,516	17,597	7,966	7,134	23,440	63,496
		受入量	2,843	4,516	17,597	7,966	7,134	23,440	63,496
	廃酸	運搬量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
		受入量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
	廃アルカリ	運搬量	5,100	7,420	3,520	4,050	6,140	5,570	31,800
		受入量	5,100	7,420	3,520	4,050	6,140	5,570	31,800
	廃プラスチック類	運搬量	0,353	0,076	0,207	0,786	0,134	0,440	1,996
		受入量	0,353	0,076	0,207	0,786	0,134	0,440	1,996
	金属くず	運搬量	0,974	0,608	0,646	0,528	0,792	0,440	3,988
		受入量	0,974	0,608	0,646	0,528	0,792	0,440	3,988
特別管理産業廃棄物	引火性廃油	運搬量	0,380	0,290	5,630	0,470	4,060	0,000	10,830
		受入量	0,380	0,290	5,630	0,470	4,060	0,000	10,830
	強酸	運搬量	1,360	3,810	0,000	0,000	0,000	0,000	5,170
		受入量	1,360	3,810	0,000	0,000	0,000	0,000	5,170
	強アルカリ	運搬量	0,200	0,200	0,000	0,200	0,200	0,000	0,800
		受入量	0,200	0,200	0,000	0,200	0,200	0,000	0,800

産業廃棄物収集運搬実績（平成30年度）下半期（運搬車）

（単位：t）

種類	品目		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
産業廃棄物	汚泥	運搬量	280,980	219,710	240,310	186,080	241,440	241,040	1,409,560
		受入量	280,980	219,710	240,310	186,080	241,440	241,040	1,409,560
	廃油	運搬量	8,645	8,535	10,464	0,717	1,790	3,562	33,713
		受入量	8,645	8,535	10,464	0,717	1,790	3,562	33,713
	廃酸	運搬量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
		受入量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
	廃アルカリ	運搬量	5,430	7,340	2,170	8,220	1,660	4,930	29,750
		受入量	5,430	7,340	2,170	8,220	1,660	4,930	29,750
	廃プラスチック類	運搬量	0,085	0,235	3,854	0,397	0,490	1,722	6,783
		受入量	0,085	0,235	3,854	0,397	0,490	1,722	6,783
	金属くず	運搬量	0,680	2,030	1,132	0,636	0,220	0,526	5,224
		受入量	0,680	2,030	1,132	0,636	0,220	0,526	5,224
特別管理産業廃棄物	引火性廃油	運搬量	5,730	0,000	4,960	0,350	4,230	0,430	15,700
		受入量	5,730	0,000	4,960	0,350	4,230	0,430	15,700
	強酸	運搬量	0,000	2,982	0,000	0,000	0,000	0,000	2,982
		受入量	0,000	2,982	0,000	0,000	0,000	0,000	2,982
	強アルカリ	運搬量	0,000	6,140	0,200	0,120	0,000	0,000	6,460
		受入量	0,000	6,140	0,200	0,120	0,000	0,000	6,460









## 2. 登録対象

### (1)登録内容

みちのくEMS登録証

登録日 : 2018年9月29日

登録期限 : 2020年9月28日

登録番号 : みちのくEMS

優良産廃処理業者用 初版

### (2)登録範囲

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬及び  
油水分離槽・グリストラップの清掃

### (3)対象事業所

事務所 : 宮城県仙台市若林区卸町東五丁目3番16号

## 3. 環境方針

### 東伸環境株式会社 環境方針

1. 東伸環境株式会社は、産業廃棄物収集運搬業に係る全ての事業活動の提供を通じて、社会に対して環境保全の取り組みを積極的に展開する。
2. 当社の活動において発生する環境に及ぼす影響を常に認識し、以下の項目に取り組み、汚染の予防ならびに継続的改善に努める。
  - (1) 二酸化炭素排出量の削減
  - (2) 廃棄物排出量の削減
  - (3) 水の使用量の削減
  - (4) グリーン調達の推進
3. 環境方針の達成のため環境目的と目標を定め、一致協力してその達成に努める。目的と目標は定期的に見直す。
4. 環境側面に関する法規制、及びその他の要求事項を順守する。
5. この環境方針は、当社社員及び当社に係る全員に周知するとともに、一般にも開示する。

平成30年4月1日

東伸環境株式会社

代表取締役 鈴木 昇

## 4. 環境目的・環境目標

### 2018年度以降の環境目標・環境目的

環境目的		2017年度 (基準値)	2018年度 目標値	2019年度 目標値	2020年度 目標値
二酸化炭素 排出量の削減 2017年実績 -0.2%	電力使用量 2017年実績 -0.2%	12563 kgCO <sub>2</sub> /年  23051 kWh/年	12550 kgCO <sub>2</sub> /年  23028 kWh/年	12538 kgCO <sub>2</sub> /年  23005 kWh/年	12525 kgCO <sub>2</sub> /年  22982 kWh/年
	軽油使用量 2017年実績 -0.2%	67046 kgCO <sub>2</sub> /年  25548 ㍲/年	66979 kgCO <sub>2</sub> /年  25522 ㍲/年	66912 kgCO <sub>2</sub> /年  25497 ㍲/年	66845 kgCO <sub>2</sub> /年  25471 ㍲/年
	ガス使用量 2017年実績 -0.2%	32.286 kgCO <sub>2</sub> /年  10.755kg/年	32.254 kgCO <sub>2</sub> /年  10.744kg/年	32.222 kgCO <sub>2</sub> /年  10.733kg/年	32.189 kgCO <sub>2</sub> /年  10.722kg/年
二酸化炭素排出量合算目標値		79641 kgCO <sub>2</sub> /年	79561 kgCO <sub>2</sub> /年	79482 kgCO <sub>2</sub> /年	79402 kgCO <sub>2</sub> /年
一般廃棄物排出量の削減 2017年実績 使用袋 -2枚		150枚/年	-1枚 149枚/年	-2枚 148枚/年	-3枚 147枚/年
水の使用量の削減 2017年実績 使用量 -2.0m <sup>3</sup>		339m <sup>3</sup> /年	-1.0m <sup>3</sup> 338m <sup>3</sup> /年	-2.0m <sup>3</sup> 337m <sup>3</sup> /年	-3.0m <sup>3</sup> 336m <sup>3</sup> /年
グリーン購入の推進 2017年実績 購入品目 +2品		2品目/年	+1品目 3品目/年	+2品目 4品目/年	+3品目 5品目/年
燃費の向上 2017年実績 燃費 +0.2km/㍲		4.153km/㍲	+0.1km/㍲ 4.253km/㍲	+0.2km/㍲ 4.353km/㍲	+0.3km/㍲ 4.453km/㍲

※電気：CO<sub>2</sub>排出係数：東北電力（平成28年実績）0.545kg-CO<sub>2</sub>/kWh

※LPガス：kg換算数値0.478m<sup>3</sup>/kg

※CO<sub>2</sub>排出量係数・単位発熱量（軽油：0.0687\*38.2/プロパン：0.0598\*50.2）

## 5. 環境目的・環境目標と実績 (環境マネジメントプログラム)

### 2019年度環境活動実績

環境目的		具体的方策	目標値	実績値	評価
二酸化炭素 排出量の削減 2017年実績 -0.2%	電力使用量 2017年実績 -0.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調温度の適正管理</li> <li>休憩時間の消灯確認</li> <li>設備の休止時電源オフ</li> </ul>	12538 kgCO <sub>2</sub> /年	12449 kgCO <sub>2</sub> /年	A
			23005 kWh/年	22840 kWh/年	
	軽油使用量 2017年実績 -0.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイドリングストップの推進</li> </ul>	66912 kgCO <sub>2</sub> /年	78147 kgCO <sub>2</sub> /年	C
	ガス使用量 2017年実績 -0.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>お湯使用の制限</li> </ul>	32.222 kgCO <sub>2</sub> /年	20.089 kgCO <sub>2</sub> /年	A
			10.733kg/年	6.692kg/年	
二酸化炭素排出量合算目標値		<ul style="list-style-type: none"> <li>上記方策</li> </ul>	79482 kgCO <sub>2</sub> /年	90615 kgCO <sub>2</sub> /年	B
一般廃棄物排出量の削減 2017年実績 使用袋 -2枚		<ul style="list-style-type: none"> <li>用紙再利用の徹底(裏紙使用)</li> <li>過剰包装物の購入制限</li> <li>紙ゴミ分類・売却</li> </ul>	-2枚	130枚/年	A
			148枚/年		
水の使用量の削減 2017年実績 使用量 -2.0m <sup>3</sup>		<ul style="list-style-type: none"> <li>節水教育(生活水での節水ゴミ活用、垂れ流しを防ぐ等)</li> </ul>	-2.0m <sup>3</sup>	352m <sup>3</sup> /年	B
			337m <sup>3</sup> /年		
グリーン購入の推進 2017年実績 購入品目 +2品		<ul style="list-style-type: none"> <li>事務用品購入時リサイクル品を選ぶ</li> </ul>	+2品目	8品目/年	A
			4品目/年		
燃費の向上 2017年実績 燃費 +0.2km/ℓ		<ul style="list-style-type: none"> <li>アイドリングストップの推進</li> </ul>	+0.2km/ℓ	+0.863km/ℓ	A
			4.353km/ℓ	5.016km/ℓ	

評価記号A：良好(100%以上) B：やや不足(90~100%) C：不適合(90%未満)

## 5.1 具体的環境活動の評価

- ☆電力使用量の削減では、照明や空調設備について部屋ごとに消灯や運転温度の基準を作るとともに確認のための担当者を決めて各人が意識し、習慣化して管理するようになった結果、昨年引き続き目標を達成することができた。
- ☆軽油使用量の削減では、作業時流動性が悪い物を多く吸引した結果、作業負荷が増加し軽油の使用量に反映されてしまったが、ドライブレコーダー等の情報から、エコドライブ等についての意識教育を引き続き行っていく。
- ☆ガス使用量の削減では、基本的に元栓を閉めることで必要以外のお湯の使用を制限した。削減意識が更に高まり、昨年よりも使用量の削減することができ、目標を達成した。
- ☆廃棄物排出量の削減については、従業員の作業に関する知識と方法等の教育をし、目標達成に向け活動をしたが、大規模清掃等があった年末と期末に排出量が増えたことが影響し、昨年度よりも排出量が増加した。結果的には目標は達成したが、再度、日頃から用紙等の再利用や分別等の意識付けをしていく。
- ☆水使用量の削減については、各自節水を心がけるように教育をしたが、業務繁忙に伴う洗濯水使用量等の増加が原因で使用量が増加した。
- ☆グリーン購入の推進は、消費した事務用品のリストの見直しを行いながら購入した結果、目標を達成することができた。
- ☆燃費の向上については、作業エリアが近くなり、走行距離が減少したことや、作業負荷が増えたことで、軽油使用量が増加したことが原因で昨年度よりも燃費が悪化した。目標は達成することができた。ドライブレコーダー等の情報から、エコドライブ等についての意識教育を引き続き行っていく。

## 5.2 今後の課題について

環境目的		具体的方策	今後の課題	
二酸化炭素排出量の削減 2017年実績 -0.2%	電力使用量 2017年実績 -0.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調温度の適正管理</li> <li>・休憩時間の消灯確認</li> <li>・設備の休止時電源オフ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・削減意識を高め活動した結果、大きな削減効果を得られたので、課題はない。取組を継続して行う。</li> </ul>	継続
	軽油使用量 2017年実績 -0.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイドリングストップの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業時、流動性が悪い物を多く吸引した結果、作業負荷が増加し軽油の使用量に反映されてしまった。しかし、作業時の削減は困難なため、走行時のエコドライブ等の情報を教材として教育し、燃費の向上を図る。</li> </ul>	継続
	ガス使用量 2017年実績 -0.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お湯使用の制限</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・削減意識を高め活動した結果、大きな削減効果を得られたので、課題はない。取組を継続して行う。</li> </ul>	継続
一般廃棄物排出量の削減 2017年実績 使用袋 -2枚		<ul style="list-style-type: none"> <li>・用紙再利用の徹底（裏紙使用）</li> <li>・過剰包装物の購入制限</li> <li>・紙ゴミ分類・売却</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模清掃という一時的な要因が重なり昨年度よりも排出量は増加したが、分別等の徹底や取組の再教育で削減意識向上を図る。</li> </ul>	継続
水の使用量の削減 2017年実績 使用量 -2.0m <sup>3</sup>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水教育（生活水での節水ゴマ活用、垂れ流しを防ぐ等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の入り状況でその削減が難しくなるが、節水徹底の意識と声かけを今後も継続して教育していくことで、削減意識の向上を図る。</li> </ul>	継続
グリーン購入の推進 2017年実績 購入品目 +2品		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務用品購入時リサイクル品を選ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組に大きな課題はない。リサイクル品を選び購入するよう、リスタップを今後も継続し、実績を増やす。</li> </ul>	継続
燃費の向上 2017年実績 燃費 +0.2km/ℓ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイドリングストップの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業エリアが近くなり、走行距離が減少したことや、作業負荷が増えたことで、軽油使用量が増加したことが原因で昨年度よりも燃費が悪化した。エコドライブ等の情報を教材として教育することで、燃費の向上を図る。</li> </ul>	継続

## 6. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認し、評価の結果、違反はなかった。また関係機関等からの違反の指摘・苦情・訴訟はなかった。

## 7. 内部監査・外部監査の報告

### 7.1 内部監査

①実施日：2020年3月6日

②範囲：本社 業務担当（現場含む）

③チーム編成：内部監査員2名（親会社社員実施）

※ISO14001内部監査員養成講座修了

④結果の報告

不適合 0件、改善事項 0件

### 7.2 外部審査（みちのくEMS）

①実施予定日：2020年8月4日



## 8. 最高責任者による

### 全体の評価見直しの結果

#### 8.1 全体評価

システムの構築は、全般的にスムーズに運用され、現時点で見直す点はない。2020年度以降もこのシステムを継続し、環境負荷低減に向けて推進すること。

#### 8.2 見直し評価

現在の活動を継続すること。

## 9. コミュニケーション

宮城県産業資源循環協会 仙台支部事業活動の一環としてクリーン活動を実施しており、当該活動に参加。不法投棄防止キャンペーン活動として、せんだい農業園芸センター東側大沼付近のゴミ拾いを実施した。

(令和元年10月24日開催)

以上